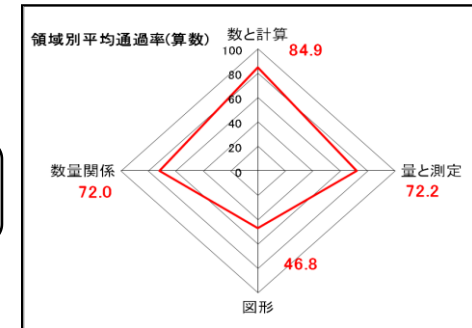


平成 24 年度「基礎・基本」定着状況調査 算数（呉市立昭和西小学校）

（昨年度の課題）

- ・ 長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を考えることができにくかった。（量と測定）
- ・ 四角形の定義、性質から図形を判断することができにくかった。（図形）
- ・ およそ 1 kg の重さのものを理解することができにくかった。（量と測定）

学校平均通過率
72.7%



（今年度の取り組み）

- ・ 日常生活や自然事象と結びついた学習内容となるように、体験的活動を積極的に取り入れ、量的な感覚を豊かにしていく。
- ・ 具体物や視聴覚機器等を活用した、算数・数学的活動を通して、平面図形や空間図形についての基礎的な概念や性質についての理解を深めさせる。
- ・ のびっこタイムや朝学習の時間に、数と計算の反復練習、長さ（距離）や重さなどの量感が身につくような指導を行う。（配慮を要する児童への個別指導を取り入れて）

（今年度の成果）

- ・ 2位数×2位数，3位数÷2位数などの数の計算の力がついている。（昨年比）
(77.1%→95.7%) (75.9%→95.7%)

（今年度の課題と要因及び対策）

【算数調査票】

- ・ 分数の意味と表し方（二1）が通過率 51.6%
1 を分割した数が分母にあたるという分数の概念が定着していない。
→分数の学習において、面積図や数直線と対応させながら思考させる。
- ・ 複合図形の面積（七）が通過率 50.5%
図形を切って移動させるなど、念頭操作をし工夫して考えることができにくい。
→面積や体積を求める際には、ことば、数、式、図を対応させて説明させるようにする。
図形を分けたり、継ぎ足したりするイメージを持ちにくい児童には具体物を用いてイメージさせるようにする。
- ・ ひし形の定義（九）が通過率 23.7%
正三角形の定義（十）が通過率 37.6%
図形の特徴を表す定義を言葉で明確に言い表すことができにくい。
→図形の定義を習熟できるよう、のびっこタイムで反復練習をしていく。
→教室に掲示し、視覚的なイメージを捉えさせるようにする。
- ・ 伴って変わる数量（十六）が通過率 51.6%
表から読み取った変化の様子を一般化して式に表すことができにくい。
→式と図を関連させて説明する経験を持たせるとともに、分かっていて聞く学級手段の雰囲気づくりをする。また、一般化することのよさを実感させる指導を工夫する。

【質問紙】

- ・ 文章を式で表したり、式にあてはまる問題を作ったりすることが好き 55.9%
文章問題では、分かっていること・尋ねられていることに線を引く習慣を身につけさせ、演算を選択する際の助けとなるようにする。また、問題作りをさせる機会を増やす。